

出来形測定報告書

工事名称			
受注者		測定者	
路線名			
工種			

図面 (説明 図等)														()規格値 単位 mm
	測定 月日	測 点	()			()			()			()		
		設計	出来形	誤差	設計	出来形	誤差	設計	出来形	誤差	設計	出来形	誤差	
/														
/														
/														
/														
/														
/														
/														
/														
/														

- 注) 1 基準高については、設計図において表示されているものについてのみ記入すること。
 2 立会欄については、監督職員が検測に立会したものについてサインすること。

舗装工事 出来形測定報告書

工事名称			
受注者		測定者	
路線名			
工種			

図面 (説明 図等)	単位 mm													
	月/日	測点	工種	規格値	設計	測定位置 ()			測定位置 ()			測定位置 ()		
厚さ					測定	厚さ	誤差	測定	厚さ	誤差	測定	厚さ	誤差	
/		表層	()											
/		基層	()											
/		上層路盤	()											
/		下層路盤	()											
/		路床	()											
/		表層	()											
/		基層	()											
/		上層路盤	()											
/		下層路盤	()											
/		路床	()											
/		表層	()											
/		基層	()											
/		上層路盤	()											
/		下層路盤	()											
/		路床	()											

- 注) 1 基準高については、設計図において表示されているものについてのみ記入すること。
 2 立会欄については、監督職員が検測に立会したものについてサインすること。
 3 測定は、計画面から出来形面までの数値を記入のこと。

塗膜厚測定記録シート (新規塗装)

工事名称													
受注者						測定者							
ロット番号						測定膜厚	μm						
測定時点	後					測定機器	〔製造メーカー・型式〕						
測定月日							〔製造番号〕						
測定位置	測定値										$\bar{X} - X_i$	$(\bar{X} - X_i)^2$	立会欄
	1	2	3	4	5	計	平均	※後	X_i				
1													
2													
3													
4													
5													
6													
7													
8													
9													
10													
11													
12													
13													
14													
15													
16													
17													
18													
19													
20													
21													
22													
23													
24													
25													
合計													
平均値	$\bar{X} = \frac{1}{N} \sum_{i=1}^N X_i =$					μm	設計塗膜厚値の90%以上				合	否	
最小値	=					μm	設計塗膜厚値の70%以上				合	否	
標準偏差	$S = \sqrt{\frac{1}{N-1} \sum_{i=1}^N (\bar{X} - X_i)^2} =$					μm	設計塗膜厚値の20%をこえない。 ただし、平均値が設計膜厚以上の場合は合格とする。				合	否	

- 注) 1 ※については、厚膜ジンク、下塗り等を記入すること。
 2 測定機器については、製品検査証などの品質証明が確認できるものの写しを添付すること。
 3 立会欄については、監督職員が検測に立会したものについてサインすること。

塗膜厚測定記録シート

(塗り替え塗装)

工事名称										
受注者						測定者				
ロット番号						測定膜厚 μ m				
測定時点						測定機器 <small>[製造メーカー・型式]</small> <small>[製造番号]</small>				
測定月日										
測定位置	測定値									立会欄
	1	2	3	4	5	計	平均	※後	X i	
1										
2										
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
合計										
平均値 $\bar{X} = \frac{1}{N} \sum_{i=1}^N X_i =$						μm		設計塗膜厚値の100%以上		合 否
最小値 =						μm		設計塗膜厚値の80%以上		合 否

- 注) 1 ※については、ケレン、下塗り等を記入すること。
 2 測定機器については、製品検査証などの品質証明が確認できるものの写しを添付すること。
 3 立会欄については、監督職員が検測に立会したものについてサインすること。

すべり抵抗値測定記録シート

工事名称													
受注者						測定者							
路線名						測定機器							
測定月日		路面温度(t)				℃		[製造メーカー・型式]				[製造番号]	
すべり抵抗値 (上段：湿潤状態、下段：湿潤ふき取り状態)													
測定位置							湿潤状態の 平均値(C t)		すべり 抵抗値 (C20)		$\bar{X}-C_{20}$	$(\bar{X}-C_{20})^2$	立会欄
		1	2	3	4	5	計						
1													
2													
3													
4													
5													
6													
7													
8													
9													
10													
11													
12													
13													
14													
合計													
平均値		$\bar{X} = \frac{1}{N} \sum_{i=1}^N C_{20} =$					平均値の40以上		合	否			
最小値		=					30以上		合	否			
標準偏差		$S = \sqrt{\frac{1}{N-1} \sum_{i=1}^N (\bar{X} - C_{20})^2} =$					5をこえない		合	否			
備考欄： 温度補正式 $C_{20} = -0.0071 t^2 + 0.9301 t - 15.79 + C t$ C_{20} : 20℃に補正したBPN (すべり抵抗値) $C t$: 路面の表面温度 t℃の時の湿潤状態でのBPN t : 路面温度													

- 注) 1 測定機器については、製品検査証などの品質証明が確認できるものの写しを添付すること。
2 立会欄については、監督職員が検測に立会したものについてサインすること。

接地抵抗測定結果表

工事名称			
受注者		測定者	
路線・対象物名		測定機器	[製造メーカー・型式] [製造番号]

測定箇所 (管理番号)	1本目	2本目	3本目	4本目	5本目	測定結果		測定月日	天候	備考	
						最終抵抗	使用本数				
						Ω	本	/			
						Ω	本	/			
						Ω	本	/			
						Ω	本	/			
						Ω	本	/			
						Ω	本	/			
						Ω	本	/			
						Ω	本	/			
						Ω	本	/			
						Ω	本	/			
						Ω	本	/			
						Ω	本	/			
						Ω	本	/			
						Ω	本	/			
						Ω	本	/			
						Ω	本	/			
使用本数										本	
精算数量	連結式接地棒 打増用										本

- 注) 1 管理番号については、照明灯工事のみ記入すること。
 2 測定機器については、製品検査証などの品質証明が確認できるものの写しを添付すること。

絶縁抵抗測定結果表

工事名称							
受注者		測定者					
路線・対象物名		測定機器	<small>[製造メーカー形式]</small> <small>[製造番号]</small>				
		定格測定電圧	V				
測定箇所・回路名 (管理番号)	絶縁抵抗値測定 (MΩ)				測定日	天候	備考
	大地間			線間			
	R-E	S-E	T-E				
				/			
				/			
				/			
				/			
				/			
				/			
				/			
				/			
				/			
				/			
				/			
				/			
				/			
				/			
				/			
				/			

- 注) 1 管理番号については、照明灯工事のみ記入すること。
 2 絶縁抵抗測定は施工前後に行うこと。
 3 測定機器については、製品検査証などの品質証明が確認できるものの写しを添付すること。
 4 開閉器等で区切ることのできる電路ごとに5MΩ以上とする。ただし、機器が接続された状態では1MΩ以上とする。
 5 絶縁抵抗測定の定格測定電圧は原則として500Vとすること。ただし、既設回路に制御機器等が接続されおり、制御機器等の損傷が予測される場合の定格測定電圧下記による。
 電路の仕様電圧が100V級の場合は125V、200V級の場合は250V、400V級の場合は500Vとすること。

接続性能試験結果表

工 事 名 称			
受 注 者			
試 験 年 月 日		測定者	

図 面 (説 明 図 等)									
	測定区間	管番号	参画 企業体	管種	管径	接続性能試験			立会欄
						封入圧力	低下圧力	試験結果	
	～								
	～								
	～								
	～								
	～								
	～								
	～								
	～								
	～								
	～								
	～								
	～								

注) 立会欄については、監督職員が試験に立会したものについてサインすること。

照度測定結果表

請求番号	第 号
工事名称	
受注者	

測定日時	令和 年 月 日 : ~ :
天 候	

測定機器及び測定者

測定者		測定機器 1	[製造メーカー・形式] [製造番号]
測定者		測定機器 2	[製造メーカー・形式] [製造番号]
測定者		測定機器 3	[製造メーカー・形式] [製造番号]
測定者		測定機器 4	[製造メーカー・形式] [製造番号]
測定者		測定機器 5	[製造メーカー・形式] [製造番号]

- 注) 1 測定機器については、製品検査証などの品質証明が確認できるものの写しを添付すること。
 2 照度測定箇所については、事前に照度測定計画書を提出し、監督職員の承諾を得ること。
 3 最低照度、最高照度、平均照度なども記載した測定結果を、別紙にて提出すること。

支給品要求書

監督職員	
係長	担当者

様

令和 年 月 日

受注者

現場代理人

下記のとおり支給品を要求します。

記

工事名称					契約年月日	
品目	規格	単位	数量			備考
			前回まで	今回	累計	

支給品受領書

監督職員	
係長	担当者

様

令和 年 月 日

受注者

現場代理人

下記のとおり支給品を受領しました。

記

工事名称					契約年月日	
品目	規格	単位	数量			備考
			前回まで	今回	累計	

支給品返還書

監督職員	
係長	担当者

様

令和 年 月 日

受注者

現場代理人

下記のとおり支給品を返還します。

記

工事名称				契約年月日	
品目	規格	単位	数量	備考	

(原寸 ・ 材料 ・ 仮組立 ・ 製品) 検査願

令和 年 月 日

大阪港湾局長 様

受注者

現場代理人

次のとおり、検査をお願いします。

記

1 請求番号 第 号

2 契約番号 第 号

3 工事名称

4 検査対象物

5 検査希望日 令和 年 月 日 ()

6 検査場所

大阪港湾局長 様

事故報告書

この度、 において実施しております、
の 現場において、重大な事故を発生させ、貴市をはじめ関係当局に多大なる
ご迷惑をお掛けし、誠に申し訳なく衷心よりお詫び申し上げます。
なお、事故原因等の詳細につきましては、次のとおりご報告申し上げます。

記

発注者						
工事名称						
契約日	令和	年	月	日		
工期	令和	年	月	日		
現場代理人						
発生現場	区					
発生日時	令和	年	月	日 ()	時	分
事故概要						

被害者	氏名	年齢	性別
	住所		
	症状		
	加療期間		
	加療機関		
加害者	氏名	年齢	性別
	住所		

特記事項

事 故 再 発 防 止 対 策

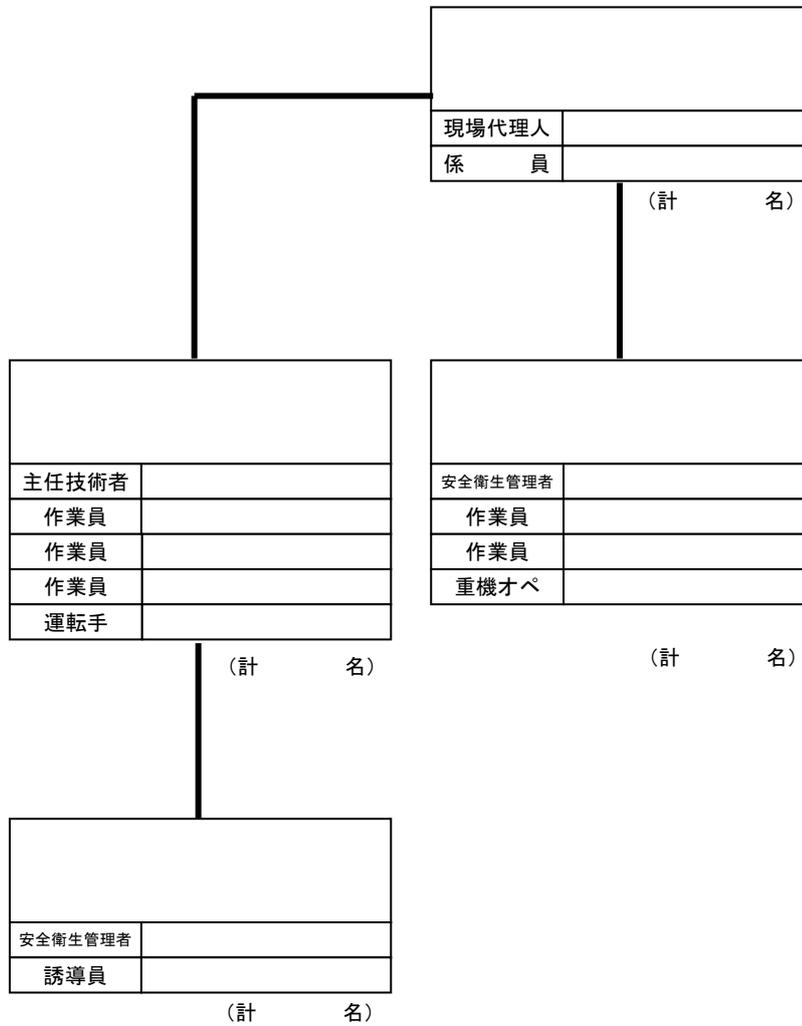
工 事 名 称	
受 注 者	
現 場 代 理 人	
発 生 日 時	令和 年 月 日 () 時 分
発 生 場 所	区
事 故 の 主 内 容	
事 故 概 要	
事 故 原 因	
(人的要因)	----- ----- -----
(管理的要因)	----- ----- -----
(物的要因)	----- ----- -----
事故防止対策 (体制の強化)	
(人的要因)	----- ----- ----- -----
(管理的要因)	----- ----- ----- -----
(物的要因)	----- ----- -----

事 故 発 生 概 要

工事名称	
受注者	
現場代理人	
発生日時	令和 年 月 日 () 時 分
発生場所	区
事故の主内容	
事故概要	
事故原因	
(人的要因)	----- -----
(管理的要因)	----- -----
(物的要因)	----- -----
当作業に関わる指示 (事故当日について)	
機械に関わる事故の場合	
被害者の状況 (第3者 ・ 工事関係者)	
事故後の処置	
(人的被害 に対して)	----- -----
(管理的被害 に対して)	----- -----
(物的被害 に対して)	----- -----
その他特記事項	

事故発生時

施工体制図並びに人員



【様式C】

令和 年 月 日

工 事 一 時 中 止 願

大阪港湾局長 様

次の工事について、施工の安全が確保されるまで、工事の一時中止をいたしますので、
ご了承いただきたくお願いいたします。

記

契 約 番 号 : _____

工 事 名 称 : _____

【様式G】

令和 年 月 日

工 事 再 開 承 諾 願

大阪港湾局長 様

令和 年 月 日付け大大阪港調 号で、工事一時中止指示のありました、次の工事において、施工の安全が確保される体制が整いましたので、工事再開の承諾をいただきたく、お願いいたします。

記

契 約 番 号 : _____

工 事 名 称 : _____

関 連 資 料 : 別紙のとおり _____

工 期 変 更 協 議 書

令和 年 月 日

大阪港湾局長 様

受 注 者
所 在 地
商号または
名 称
代 表 者 名

次の理由により、工期内に工事を完成することができなくなりましたので工期を延長していただくよう協議します。

記

- 1 請 求 番 号 第 号
- 2 契 約 番 号 第 号
- 3 工 事 名 称
- 4 現 工 期 令 和 年 月 日
- 5 変 更 希 望 工 期 令 和 年 月 日
- 6 理 由
- 7 添 付 書 類
 - ・ 変更日数算出資料
 - ・ 変更工程表
 - ・ その他必要資料

令和 年 月 日

監督担当（所属長） 様

（受注者）

所在地

商号または名称

代表者名

工 事 履 行 遅 延 報 告 書

下記の請負工事において、契約工期内完成が困難となりますので、次のとおり報告いたします。

記

1. 工事名

2. 工期 令和 年 月 日～令和 年 月 日

3. 契約番号 第 号

4. 契約金額 ￥ (当初契約金額)

5. 受注者

6. 遅延期間

誓約書において工事完成日を明記して提出します。

7. 添付書類

工程表

誓約書

遅延理由書

履行遅延届 兼 工事続行願

令和 年 月 日

大阪港湾局長 様

(受注者)

所在地

商号または名称

代表者名

令和 年 月 日付で請負契約を締結した次の工事につきましては、鋭意工事の進捗に努めてまいりましたが、次の理由により、工事完成が遅延することになりますのでお届けいたします。

引き続き別紙工程表のとおり、当該工事を完成まで続行してまいりますので、承認いただきますようお願いいたします。今後、このようなことのないよう充分注意いたします。

記

工 事 名 称

工 事 場 所

契 約 番 号

契 約 金 額

工 期 自 令和 年 月 日 至 令和 年 月 日

遅延後の期限 令和 年 月 日

遅 延 理 由

.....

.....

.....

.....

誓 約 書

令和 年 月 日

大阪港湾局長 様

(受注者)

所在地

商号または名称

代表者名

工事名称

工事場所

契約番号

契約金額

工 期

遅延後の工期

上記工事を続行するに際し、令和 年 月 日に締結した 工事にかかる契約書及びその他関係法令の条項を遵守するとともに、次の事項を遵守することを誓約します。

1. 工事請負契約約款第 5 条（契約の保証）に規定する契約の保証をすること。
2. 工事請負契約約款第 35 条（前払金）、第 36 条（保証契約の変更）、第 37 条（保証契約の解除）に規定する前払金に関する事項を遵守すること。
3. 工事請負契約約款第 43 条（履行遅滞の場合における損害金等）に規定する損害金を支払うこと。
4. 当該工事において、再び履行の遅延を申し出たとき、または明らかに履行遅延が見込まれるときは、直ちに工事続行不能届を提出すること。
5. 工事請負契約約款第 48 条（火災保険等）の保証も工期延期手続きの場合に準じて行うこと。
6. 今回の遅延に伴い発生する関連工事業者や委託監理事務所の経費などは、工事請負契約約款第 43 条とは別途の損害金として支払うこと。（建築工事のみ記載）
7. 弊社はもとより、下請人をも指導して、「建設工事の適正な施工の確保について」ならびに建設業法等関係法令を遵守すること。

履 行 遅 延 理 由 書

令和 年 月 日

大阪市契約担当者

契約管財局長 様

(受注者)

住 所 又 は
事 務 所 所 在 地
商 号 又 は 名 称
氏名又は代表者氏名

次の契約について、鋭意努力いたしましたが、次の理由により遅延いたし、大変ご迷惑をおかけして申し訳ありません。今後このようなことのないよう充分注意いたしますから何卒よろしくお取り計らいくださいますようお願い申し上げます。

記

工 事 名 称 :

契 約 番 号 : 第 号

契 約 金 額 :

工 事 期 限 :

工 事 完 成 日 :

工 事 場 所 :

遅 延 日 数 :

(遅延理由)

上記工事の遅延について検討の結果、次のとおり取扱うものとする。

検 査 職 員 等 所 見	(職・氏名)	未済金額		
		遅延	日間	
		承認日数	日間	
		相手方の 責任日数	日間	
決 定				
決 裁	契約管財局長	工事契約担当課長	契約制度担当係長	係員

休日・夜間施工届出書

令和 年 月 日

大阪港湾局長 様

受注者

現場代理人

次の工事について、休日・夜間作業を行いたく、休日・夜間施工届を提出します。

記

- 1 請求番号 第 号
- 2 契約番号 第 号
- 3 工事名称
- 4 作業日 令和 年 月 日 ()
- 5 施工時間 : ~ :
- 6 作業場所 区
- 7 作業内容
- 8 作業理由
- 9 作業責任者

休日・夜間施工実施報告書

令和 年 月 日

大阪港湾局長 様

受注者

現場代理人

- 1 請求番号 第 号
- 2 契約番号 第 号
- 3 工事名称 _____
- 4 工事場所 _____
- 5 施工日 令和 年 月 日(曜日) 天候: _____
- 6 施工時間 _____ : _____ ~ _____ :

作業実施しました

作業中止しました

作業内容 .

連絡事項 .

※ 速やかにファックス又はEメールで報告書を送信すること。
(Eメールの場合は、後日送信した日付が確認できる資料を添付すること)
※ 代表的な施工状況写真や、出来形検測写真(施工場所での出来形管理を実施した場合)も併せて提出すること。
なお、監督職員が立会を行った場合は省略することができる。

休暇中の現場管理報告書

令和 年 月 日

大阪港湾局長 様

受注者

現場代理人

請求番号 第 号

契約番号 第 号

工事名称 _____

上記工事について、休暇期間中の現場保安管理を次のとおり行いますので報告いたします。

①現場作業状況(休業)

/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/

※凡例 ○:作業日 ×:休業日

②連絡先 (会社) _____

(現場事務所) _____

③緊急連絡要員 (氏名の下段に携帯及び自宅番号を記入してください)

氏名	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/

※凡例 ◎:連絡責任者 ○:現場常駐 △:自宅待機

④現場巡視 (A:工事関係者 B:交通誘導員)

/	/	/	/	/	/	/	/	/	/

※凡例 ○:常駐 △:巡回(1日 回) ×:巡視なし

⑤休暇中の現場保安状況

※具体的に記入願います(特に復旧状況、占用状況(別紙添付有)、その他必要事項)

建設系廃棄物搬入集計表（令和 年 月分）（種類：

）

請求番号	契約番号		受注者		令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日		
①	収集運搬車両		電子マニフェスト受渡確認票				⑧
②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	
引渡し日	車両番号	最大積載量 ^{※1} 【t】	マニフェスト 番号	最終処分 終了日	処分業者	確定数量 ^{※2}	備考 ^{※3}
計							

上表の①～⑧及び産廃種別ごとの確定数量合計が確認ができる様式であれば、別様式を用いても良い。

- ※1 自動車検査証による最大積載量を記載する。
- ※2 電子マニフェストの確定数量を記載する。（中間処理施設や処分地で計量した重量もしくは引渡し時に監督職員が確認した数量を記載する。）
- ※3 施工箇所が複数ある場合、必要に応じて路線名又は箇所名を記入する。

建設系廃棄物搬入集計表

(令和 年 月分)

種類 ()

請求番号	第 号									
契約番号	第 号									
工事名称										
受注者										
工期	令和 年 月 日 ~ 令和 年 月 日									
工種										
搬出 年月日	自重計等 による重量 (t)※1	搬出車両		マニフェスト						計量伝票 による重量 (t)※3
		車両番号	最大積載量 (t)※2	交付番号	A票	B2票	D票	E票	処分地	
計										

※1 搬出前の自重計による計量重量又は現場内で設置したトラックスケールでの計測重量、マニフェストA票の重量のいずれかを記入する。
 記入の順位は、①トラックスケール ②自重計 ③マニフェストA票のいずれかを記入。
 なお、計量伝票による重量の記入がある場合は記入しなくてよい。

※2 自動車検査証による最大積載量

※3 処分地等の計量伝票による重量

(注) マニフェストの各票の欄には照合確認日を記入。

部分使用承諾書

令和 年 月 日

大阪港湾局長 様

所在地
受注者 商号または名称
代表者名

工事請負契約書約款第34条により、下記のとおり部分使用を承諾します。

記

1. 請求番号 第 号
2. 契約番号 第 号
3. 工事名称
4. 契約年月日 令和 年 月 日
5. 完成期限 令和 年 月 日
6. 使用部分
7. 使用期間 令和 年 月 日～全工事完成引渡日まで
8. 部分使用の条件 工事請負契約書約款第34条第2項・第3項の規定による。

現場確認検査願

令和 年 月 日

大阪市長様

受注者 所在地
商号または
名称
代表者名

次のとおり現場確認検査をお願いします。

記

請 求 番 号	第 号
契 約 番 号	第 号
契 約 年 月 日	令和 年 月 日
工 事 名 称	
工 事 場 所	
工 事 期 限	令和 年 月 日
検 査 対 象	

令和 年 月 日

大阪港湾局長 様

受注者

所在地

商号または名称

代表者名

設計変更協議書

本工事の実施にあたり、設計図書に基づく実施ができないため、設計図書の変更について、次のとおり協議します。

記

請求番号	令和 年度 第 号	契約番号	第 号
工事名称			
完成期限	令和 年 月 日	受注者	
設計変更協議理由ならびに内容			添付図書番号

設計変更履歴一覧表

工事名称：

受注者：

番号	各提出・通知等		主な変更内容
1	変更協議日		
	変更指示日		
	変更承諾日		
2	変更協議日		
	変更指示日		
	変更承諾日		
3	変更協議日		
	変更指示日		
	変更承諾日		
4	変更協議日		
	変更指示日		
	変更承諾日		
5	変更協議日		
	変更指示日		
	変更承諾日		
6	変更協議日		
	変更指示日		
	変更承諾日		
7	変更協議日		
	変更指示日		
	変更承諾日		
8	変更協議日		
	変更指示日		
	変更承諾日		
9	変更協議日		
	変更指示日		
	変更承諾日		
10	変更協議日		
	変更指示日		
	変更承諾日		